別表第三

＜総合評価＞

１．各領域（教育，研究，社会・地域貢献，管理運営）の評価点に，別表第二「業績評価の職位別重みパターン」の重みを乗じ１次評価点を算出し，１次評価点に，職位による評価点の格差を考慮して別表第二「業績評価の職位別係数」（以下「係数」という。）の係数を乗じた値を総合評価点とする。

２．１の総合評価点に応じて次の７段階で評価する。ただし，合計点が100点を超えた場合は、

　100点とする。

３．総合評価点は小数第二位まで求め，小数第二位未満は四捨五入とする。

　（総合評価点算出式）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １次評価点 | ＝ | （教育領域の評価点×重み） | ＋ | （研究領域の評価点×重み） |
| １００ | １００ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ＋ | （社会・地域貢献領域の評価点×重み） | ＋ | （管理運営領域の評価点×重み） |
| １００ | １００ |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 総合評価点 | ＝ | １次評価点 | × | 係数 |

＜業績評価区分＞

（適用手順）

１．職位ごとに総合評価点に基づき順位付けを行う。なお，評価点が同率となった者間での順位付けについては，学長が決定する。

２．総合評価点上位の者から順に次表による評価区分の適用を行う。

３．厳格で客観的・公正な評価の観点から学長が認める場合には,次表の総合評価の基準点及び選考定数にかかわらず業績評価区分を決定する事ができるものとする。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 業績評価区分 |
| 特に優秀 | 優秀 | 特に良好 | 良好 | やや良好でない | 良好でない | 要改善 |
| 総合評価点の基準 | 95点以上 | 85点以上95点未満 | 75点以上85点未満 | 40点以上75点未満 | 20点以上40点未満 | 10点以上20点未満 | 10点未満 |
| 選考定数 | 評価対象となる新年俸制適用者の在籍数の10％ | 評価対象となる新年俸制適用者の在籍数の20％ | 評価対象となる新年俸制適用者の在籍数の20％ | 基準点を満たす者及び、基準点を超え上位の評価に該当しない者全て | 基準点を満たす者全て | 基準点を満たす者全て | 基準点を満たす者全て |

※選考定数は職位ごとに算定する。

※選考定数算定の際に小数点未満が生じた場合は切り捨てとする。ただし選考定数が1未満となる場合は1とする。

|  |
| --- |
| ＜業績評価区分適用例＞教授20名の場合・選考定数　　特に優秀評価⇒2名、優秀評価⇒4名、特に良好評価⇒4名 　　　　　　　　　　　　　　　総合順位 氏名　職位　総合評価点　業績評価区分　　　　　 　　１　　あ　 教授　 95　 　 特に優秀２　　い　 教授 89 　優秀３　　う　 教授 89 優秀優秀評価圏４　　え　 教授 88 優秀 　　５　　お　 教授　　 87 優秀 ６　　か　 教授 86 優秀 　　→ 特に優秀評価定数の残を下位流用７　　き　 教授 85 特に良好 → 優秀評価定数超過のため下位の８　　く　 教授　　 84 　特に良好　 評価区分を適用　　　　　　　 ９　　け　 教授　　 82 特に良好特に良好評価圏10　　こ　 教授 78 特に良好　　　　　 　　11　　さ　 教授 76 良好 　　→ 特に良好評価定数超過のため下位 　　12　　し　 教授 74 良好 　　の評価区分を適用 　　13　　す　 教授 71 良好14　　せ　 教授 62 良好15 そ　 教授　　 60 良好16　　た 　教授 55 良好17　　ち　 教授 43 良好18　　つ 　教授 39 やや良好でない19　　て　 教授 15 良好でない20　　と　 教授 8 要改善　　　　　　　　 |

※「特に優秀」及び「優秀」について，該当者無し等により選考定数に余りが生じた場合，下位の評価区分に限り，余剰選考定数を流用することができるもの

特に優秀

評価圏